

小田原・平塚正教会だより

2016年11月号

2016年11月1日発行 第171号



司祭 ディミトリー 田中 仁一

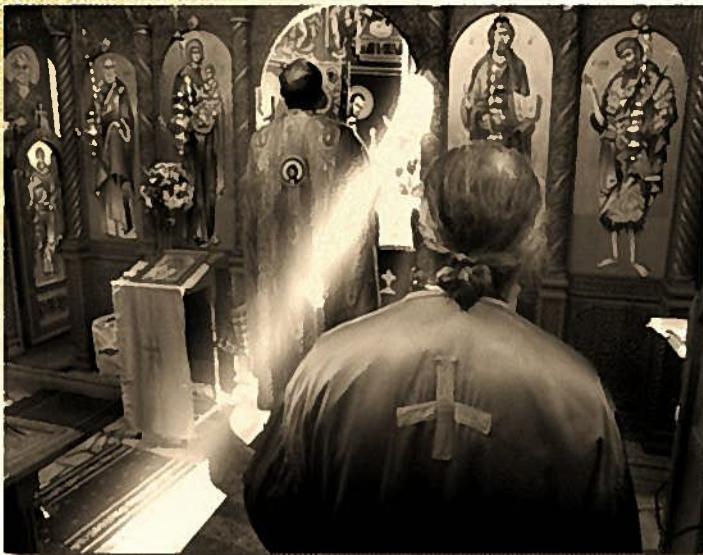
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: oco_sakae@nifty.com

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



わ れ ら ま た ま た あ ん わ
「我等又又安和にして
しゅ いの
主に禱らん。」

第一・第二アンティフォン後的小連祷

聖体礼儀は、神に見え、神と交わるための人の歩みそのものです。人は一步
一步と歩みを進めます。この歩みの中
には、終わりと同時に始まりがあります。

(続きを読む 2 ページへ)

●五旬祭後第20主日聖体礼儀・こども成長感謝祈祷

11月6日(日) 10:00~ (9:30痛悔)

第3調 ガラティヤ1:11-19 ルカ16:19:31

神父さんによるキッズタイムがあるよ!

●五旬祭後第22主日聖体礼儀・月例パニヒダ・講話

11月20日(日) 10:00~ (9:30痛悔)

第5調 ガラティヤ6:11-18 ルカ8:41-56



ボランティアデー

11月3日(祝)小田原教会 9:30~14:00 (詳細はP6)

1 今回多くの参加をお願いします。

聖体礼儀解説(13)

～我等又又安和にして…～

(…表紙からの続き)

「我等又又…祈らん」。この言葉は、前の祈願文を単なる繰り返して、という意味合いに聞こえますが、実は新たな体験を味わうよう私たち祈る人々に求める、という意味合いを含んだ言葉です。ニッサの聖グリゴリオスは言います、『今日あなたが手に入れる善きものは、これまであなたが手に入れた全てのものよりも大いなるものとなるでしょう。善いものは、ことを重ねることにさらに善くなっていくのです。

しかし、善きものをただむやみに探究するだけでは意味がありません。むしろ、既に手に入れた善きものには一つの終止符が打たれ、次のステージに上昇するための新たな踏み台となっていることに気づくべきです。つまり、踏み台を手に入れることは、より高いところに至ろうとする努力の始まりとなります。このように、**上昇しようとする人は立ち止まりません**。なぜなら、すべての終点が次の始点のきっかけになるからです。
上昇する 靈たましいは、いかなる時も更なる高次の状態へと進み、無限のものへと突き進んでいくのです』。

「我等又又…祈らん」。主に向かって同じ言葉を繰り返し、同じ内容のものを祈願するだけでは十分ではありません。神は人を愛するがゆえ、すでに私たちに神が

賜われたものと同じものを再び与えようとはされず、次へ進むために新しいものを賜われます。

確かなことは、生きているかぎり、私たちには神の平安に、生神女の愛に、そして諸聖人との交わりに限りなく近づきうる可能性が十分にあるということです。なぜなら、私たちの心と身体が罪から清められれば清められるほど、聖体礼儀において私たちのうちに賜わる神の恵みはさらに不朽のものとなるからです。



聖致命者ステファン

聖使徒行実の記録によると、聖ステファンは初代教会の中で最初に選ばれた7人の輔祭のうちの1人。またキリスト教最初の致命者である。祈祷に輔祭も立つとき、連祷は輔祭によって行われる。

最近の出来事・消息

小田原 境内入口修繕 10

月 3 日から 10 月 20 日まで、これまで割れて来会者の車両を傷つける可能性のあったコンクリートを取り除いて新たにコン



クリートを入れる工事を行いました。その間、境内地への車両進入ができなくなりました。ちょうど工事のはじまる 10 月 3 日に教会の向かいにコインパーキングができたことから、しばらくそこへ駐車することとなりました。ご協力を賜った皆様に感謝いたします。

柏久保 聖体礼儀 10 月 8 日(土)、午前 10 時頃から、記念すべき聖体礼儀が行われました。これまで長

い間、晩課を中心に行ってきてから初の試み。暗い時間に外に出歩くことが危険なため、明るい朝に行う聖堂の清掃奉仕にしか参加できなかった信徒も一緒に祈祷に臨むことができました。この日、早い信徒は朝 8 時 30 分から境内を清掃して、聖体礼儀を待つこととなりました。長い祈祷なのでは、と心配する声もありましたが、柏久保の聖堂に「ヘルヴィムの歌」が満ちたときには、その聖歌の言葉通りこの世の務めを離れて、心を一つにして祈りの歌を歌いました。まだ永眠して間もない前執事長ダヴィド雨宮博兄が時折口にしていた、「聖体礼儀をいつかこの聖堂で」という言葉を思い出すと痛悔の思いでたくさんになりますが、彼のみならず祈祷の中では柏久保の永眠信徒全てが共に記憶されるので、聖体礼儀

は決して参祷している人たちだけで行っているものではないと確信しました。また昼食には、パラスケヴァ山口静子姉がカレーライスを用意してくださいました。参祷した方々が持ち寄った美味しい初秋の食べ物で信徒会館のテーブルはいっぱいになりました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

静岡 新聖堂



静岡 聖体礼儀 (10/16 日) 前日の主日前晚祷に続き、聖体礼儀が行われました。その後、打ち合わせ等に時間を要したため、昼食を頂きながら、連絡・

報告を行いました。その後、役員会を兼ねた執事会を行いました。

新聖堂建設進捗状況 先月の基礎成聖式を終え、聖堂は外見が把握できるまでに骨組みが出来上がりました。この後、緑青色のガルバニウム(耐久性と熱反射力のある合金)素材を使用した屋根が施されます。また聖堂内のフローリングに使用する色をアントニイ近藤健太兄と執事はじめ信徒と相談し、近藤兄に一任することとしました。成聖式に向けた準備も始められています。今後、皆様のお力とお知恵をさらにお貸頂くことになりますが、よろしくお願ひ致します。

修善寺 大沼家洗礼 9月24日(土)、三島大沼家の

ご長男イオアキム紀人兄の奥様恵美さんと長女明莉ちゃん、ご次男アルセニイ聰史兄の奥様恵理奈さんと長女璃子ちゃんの4名が東京復活大聖堂にてそれぞれアガフィア、ラファイラ、アナ斯塔シア、ミハイラの名で受洗しました。受託者はイオアン山田亨執事長とワルナワ野田幹太執事そしてエカテリナ阿倍姉とアンフィーサ奥村姉にお願いしました。それぞれのご家族と受託者の上に神の豊かな恩寵が臨みますことをお祈りいたします。



聖体礼儀・墓地祈祷 10月9日(日)、主日聖体礼儀を行いました。この日も天気が悪く、予定した修善寺墓地祈祷は残念ながら断念しました。富士・御殿場地区の墓地祈祷も同じく来年行うこととしました。お詫びいたします。

平塚 次回の集会は11月5日(土)に行います。皆さまのご体調が守られますことをお祈り致します。

「主日奉事式」

(改訂増補新版)

従来の「主日奉事式」に比べて、1.53倍内容が充実しました。主日徹夜祷と主日聖体礼儀の祈祷文がより丁寧に掲載されています。ご祈祷中、その意味を知るためにとても価値あるものです。従来の冊子をお持ちの方にもおススメの一冊です。

価格: 1300円/1冊
お求めは、教会・司祭・各執事長まで



聖歌リーダー養成講座

2016年10月9日(日)・10日(祝)

毎年秋には、教区主催の聖歌リーダー養成講座が行われています。今年は30名の兄弟姉妹が参加しました。小田原・修善寺・静岡の各教会からはタチアナ山口ノブ子姉・ウェラ神谷智子姉・マリーナ日比野恵美子姉・マリヤ近藤満理彌姉・オリガ飯塚優規子姉・アナスタシア中村順子姉・ワルナワ野田幹太兄・アナスタシア田中祐子姉が参加しました。また長司祭イオアン小野貞治神父様・司祭パウエル中西裕一神父様・聖歌者リュボフ田中博子姉が講師としてご指導を賜りました。今回はこれまでのようクラス分けせず、参加者全員で聖体礼儀の祈祷の内容をより理解する目的で行われました。参加者からのレポートです。

1日目の報告をさせていただきます。はじめに田中先生より、聖体礼儀の聖歌の内容を理解した上で歌うことができるようになることが今回の養成講座の目標とお話がありました。続いて小野神父様より聖体礼儀のお話があり、特に普段見ることのできない至聖所での所作について詳しく説明していただきました。田中先生からは、その至聖所の先の東に向かって声が届くように歌いましょう、言葉をはっきり歌いましょう、とご指導を頂きました。私たちも皆が至聖所を意識できるよう聖歌隊の立ち位置を見直そうと話し合いました。小田原としては「聖なる神」の歌い方についてもう少し言葉を大切にして歌えるよう工夫して練習したいと思います。

(小田原教会 タチアナ山口ノブ子姉・ウェラ神谷智子姉・マリーナ日比野恵美子姉共同)

この度東京大主教区聖歌研修リーダー養成講座の2日目のみを受講させて頂きました。

内容 (1) 「聖体礼儀の聖歌」 リュボフ田中博子姉
(2) 「アトス山における祈禱と聖歌」 パウエル中西神父様

(1)では正教における祈禱の中での聖歌の役割の大きさを話されました。又、正教会では楽器を使わない事が他教会との大きな違いであり、聖歌の言葉とその意味をしっかり理解する事が求められると。「復活」は「ふくかつ」ではなくて「ふっかつ」と読み、歌うべし。正教会の聖歌詞が旧約、新約の言葉、聖詠等から引用されている等、正に伝統的な正教会の聖歌を誇りをもって大切に歌い継いで行かなければと思いました。(2)ではアトス修道院の大変貴重な写真を大写しで見せて下さりアトスで耳にした聖歌を神父様が歌唱され、見た事もない不思議な記号で書かれた譜面に驚きました。講師の皆様、関係者の皆様に御礼申し上げます。

(静岡教会 オリガ飯塚優規子姉)

ボランティアデー

11月3日(土)9:30~14:00

(小雨の場合は行います)

毎年、境内地美化活動として行っています。今年は、花の苗に加えてユリの球根も植える予定です。今年の昼食はカレーライス♪

ご家族でもふるってご参加ください！



こども成長感謝祈祷

11月6日(日)

聖体礼儀に引き続き、聖堂にて

お子様の今日までの成長への感謝と共に、今後の日々の歩みの上に神様の祝福がありますようお祈りします。

神父さんからのプレゼン
トとイベントも
お楽しみに♪



献金報告

10/20 現在　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
10/2	村松 伸子様	パニヒダ献金
	内藤 直樹兄	パニヒダ献金
	廣石 清子姉	パニヒダ献金
10/9	村松 伸子様	感謝献金

婦人会献金：
今月はありません。

定額献金について

いつも定額献金によって教会を支えて下さり、感謝申し上げます。今年度も既に多くの信徒の方々から定額献金を賜っております。定額献金は上記の献金報告に掲載されておりません。年度はじめにお送りした会報に同封した専用の封筒を領収書代わりにお返ししています。もし、お手元に専用の封筒がなく、定額献金をされる場合は、封筒に「定額献金」とご記入の上、会計までお願いします。この場合は領収書をお返しします。賜りました献金が祈りのうちに善きことのために用いられますことを、共にお祈りくださいますよう、お願ひいたします。今後もよろしくお願ひ致します。



11月の永眠者一覧 (敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	エレナ	瀧谷 マス	1903年	瀧谷 道子
2日	アンナ	大田 スミ	1993年	土居 勇典
3日	マリヤ	渡辺 ヨシ	2005年	渡辺 宏
3日	マリヤ	神谷 千代	2009年	神谷 淳一
4日	ワッサ	瀧谷 カネ	1949年	瀧谷 道子
4日	フォマ	村松 一郎	2012年	村松 伸子
5日	ネオニラ	中島 清子	1941年	岡野 康子
6日	パウエル	神谷 清右衛門	1939年	神谷 淳一
8日	マウラ	関川 信子		
9日	イリナ	竹内 ワカ	1915年	樋口家
10日	ナウム	瀧谷 晋	2009年	
10日	マリナ	内藤 ミチ	2008年	内藤 直樹
11日	マリヤ	飯塚 ミツ	2001年	山本 やす江
11日	司祭ティト	中島 市造	1930年	岡野 康子
12日	ナタリヤ	日比野 ツマ	1892年	日比野 勇
12日	リヤ	神谷 ウタ	1951年	神谷 武夫
14日	オリガ	日比野 タツ	1948年	日比野 勇
15日	ダニイル	荒井 智	1944年	荒井 譲
16日	イリナ	神谷 トミ	1942年	神谷 淳一
17日	ヒワ	日比野 ヒワ	1894年	日比野 勇
19日	イオアン	内藤 雅悟 <small>マサル</small>	2008年	内藤 直樹
19日	ゾヤ	中島 マキ	1919年	中島 八千代
20日	マリヤ	山口 勢以	1909年	山口 晃
20日	ゾシヤ	荒井 エイ	1938年	荒井 譲
21日	アンナ	廣石 ゆき	1996年	廣石 卓也
21日	ダヴィド	吉竹 克己	2006年	
22日	ナタリヤ	高橋 ふみ	1985年	松川 穂み
24日	イオアン	山口 寛	1914年	山口 晃
27日	イリナ	岡本 啓子	2001年	假野 美枝
10日		中島(嬰児)	1960年	中島 八千代
16日		日比野 悅子	1968年	日比野 恒美

今月の月例パニヒダは第三日曜日です。

聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの靈たましいが永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。



ローマの聖致命者アナスタシア

記憶日 11月11日/10月29日(新暦)

聖アナスタシアは西暦200年代のローマの裕福な家庭に生まれた。しかしづか3歳の年齢で両親をなくし、ローマに近いある女子修道院に預けられた。修道院長ソフィアは彼女を大切に育て、またアナスタシアも神を心から信じて従う人となった。

時代はローマ皇帝デキウス(249-251)になり、キリスト教への迫害が始まった。ローマ市の統治者プロブスはアナスタシアを引き捕らえてくるよう命じた。修道院長はアナスタシアと向き合って話をした。それは、これから迎える厳しい時の中、どのように自分の信仰を貫くか、ということであった。2時間の話し合いののち、聖アナスタシアは言った。「私の心は、私の愛する主、イイススのために命を落とす準備ができます」。修道院長ソフィアは彼女に致命の祝福を与えて行かせた。その地域の統治者プロブスが聖アナスタシアを見ると、その女性が若く美しかったので、はじめに甘い言葉で棄教させようと試みた。「ああ、あなたは若いのにもつたいない。ローマの神々を信じて、凛々しい男性と結婚して裕福に生きなさい」と。しかし聖アナスタシアはすぐさまこの様に言う。「私の支えと富と生命と幸せは主イイスス ハリストスです。あなたの思い通りにはなりません。」怒った統治者プロブスはアナスタシアの衣類をはいで、兵士に剣と鞭を持ってこさせた。聖アナスタシアは叫んで言った。「早く、私の体を切り刻みなさい。そうすれば私の体は血で覆われて、こんな辱めを免れるのだから!」聖アナスタシアはのどの渴きを二度訴える以外は、痛ましい拷問に耐え続けた。彼女の体は、傷つけられ、体の一部は切り取られてしまった。ところがその晩、彼女の牢屋に天使が顕れてその傷んだ体を悉く癒した。翌日、体が癒されたアナスタシアを見て、人々は聖アナスタシアが信じる神を信じ、また統治者プロブスはさらに怒ることになった。こうしてついに聖アナスタシアは斬首され、致命者の冠を得て永眠した。ローマ兵は彼女の体を獣に食わせて汚そう、と街の郊外に投げ捨てたが、神は聖アナスタシアの遺体に獣が近づくことを許さず、天使を遣わしてその体を守らせた。その後修道院長ソフィアと2人の手伝いが聖アナスタシアの体を引き取りに向かい、彼女は無事に修道院内に埋葬された。



トロパリ 第四調

爾の羊アナスタシアは、爾イイススに叫びて言う。「我が愛する花婿や、我爾の為に苦しみを請う。洗礼にて十字架につけられし我が身は、爾のために光栄を得、爾と共に生きるために我死を得たり。我爾を愛する故、我を汚れなき捧げものとして領けたまえ。」大仁慈なる主や、彼の祈りによりて、我らの靈を救い給え。

【2016年11月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	火			
2	水			
3	木	ボランティアデー(9:00-14:00) 文化の日		
4	金			
5	土	平塚地区集会(10:00) 主日晚課・執事定例連絡会(17:00)		11/5 第三調 使徒経:ガラ1:11-19 福音経:ルカ16:19-31
6	日	五旬祭後第20主日聖体礼儀・こども成長感謝祈祷(10:00)	神谷(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
7	月			
8	火			
9	水			
10	木	[東京 神学校]		
11	金			
12	土	[私祈禱 小田原]		
13	日	五旬祭後第21主日:聖携香女の主日(10:00) · 聖堂清掃0[修善寺]	山口(幸)	11/13 第四調 使徒経:ガラ2:16-20 福音経:ルカ8:26-39
14	月			
15	火			
16	水			
17	木	[東京 神学校]		
18	金			
19	土	[午前:修善寺] 主日前晚祷(17:00)		11/20 第五調 使徒経:ガラ6:11-18 福音経:ルカ8:41-56
20	日	五旬祭後第22主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00) ·講話	山口(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
21	月	主日晚課・執事定例連絡会(17:00)		
22	火	[伝道会 個人]		
23	水	[教会代表者会議 東京]		
24	木	[東京 神学校]		
25	金			●糖飯当番:神谷綾子姉
26	土	[午後:静岡]		11/27 第六調 使徒経:エphe2:4-10 福音経:ルカ10:25-37
27	日	五旬祭後第23主日代式祈禱(10:00) · 会館・駐車場清掃 [静岡]	神谷(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
28	月			
29	火			
30	水			

[]内は司祭の活動

* 聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう *

* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。*

